

2023(年度)事業計画書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

認定NPO法人アンビシャス

I 事業実施の方針

難病相談支援センターとして日々難病患者・家族からの相談を受け、療養や日常生活での悩み、不安等の解消を図るとともに様々なニーズに対応したきめ細やかな相談・支援を心がける。小児慢性特定疾病を持つ患者の自立支援事業の「充実」と当団体の「周知」活動を重点的に実施し、ひとりで悩んでいる方を取り残さないような体制を目指す。

●事業の予定日時などの明細は別紙「年間スケジュール 2023」参照

1) 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業

県委託事業である難病相談支援センター事業は、主に難病相談・就労支援及び、ピア・サポーター養成について強化するとともに、医療相談会などの全ての事業に加え、小児慢性特定疾患の成人移行期における自立支援においてもニーズに対応した取り組みを実施する。

2) 障害福祉サービス事業

前年まで進めてきた「障害福祉サービス事業」における「沖縄指笛」制作活動は一時中断し、再検討していく。難病相談支援センター事業に関わる就労支援（前項1）を中心に、これまで連携を深めてきたハローワークや産業保健支援センター等の関係機関と連携し、就労において悩みを抱える難病患者1人1人が治療と仕事を両立できるよう、より1人1人に寄り添った相談・支援そして社会・企業における難病啓発活動に努めていく。

3) 難病に関する周知啓発活動

難病情報提供を目的に難病情報誌を毎月発行は継続。当事者だけでなく一般市民へ難病に関する周知啓発と支援活動への理解を広める。特に「表紙は語る」コーナーでは当事者自らの体験を語ることで「世の中に難病は自分一人だけ」との孤独感の解消を図る。2023年12月には「全国難病センター研究会」を沖縄にて開催、相談員の質の向上と県内外の関係機関との周知・連携を目指す。

II 事業の実施に関する事項

2023年度 特定非営利活動に係る事業

認定NPO法人アンビシャス

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円) (税込)
1) 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業	A) 沖縄県縄委託事業 B) 沖縄県補助事業 C) 沖縄県小慢自立支援 D) 那覇市小慢自立支援 E) 患者会支援等 F) 各種関係機関連携 他	通年	事務局 又は 各自宅等	A) 4名 B) 4名 C) 4名 D) 4名 E) 5名 F) 7名	A) 相談件数 1700件 B) 貸与累計 20件 C) 相談件数 152件 D) 相談件数 30件 E) 広報支援 17団体 F) 医療相談会 48組 看護学生実習 6名 支援者研修 100名 ピアサポート 15名	16,069 (内県委託 9,240)
2) 障害者福祉サービス事業	会報誌 ICT 寄稿・編集 (作業就労支援)	随時	事務局	3名	寄稿編集等 5名	2,800
3) 難病及び各事業に関する周知啓発活動事業	広報活動(会報誌発行、ホームページ、他) 世界希少難治性疾患の日	通年 2/28	事務局	5名	会報誌発行部数 年間延べ 19,200部 参加者目標 100名	4,590
4) その他目的を達成するための事業						

支出額計 23,459